

大項目	計算				
小項目					
タイトル (教材名)	四則計算 くり返し計算プリント				
目的 身につけてほしい力	同じ単元の学習をくりかえし行う。				
教材の概要	Excel で作成した足し算・引き算などの学習プリントにくり返し取り組む。学習の定着を図り、学習前のウォーミングアップとしても使用する。				
材料	B5 用紙（児童の実態に合わせて A4、B4 等も使用）				
作り方	Excel で randbetween 関数を利用して作成する。 1 つのセルに =randbetween(○, △) と入力すると、○以上、△以下の数字がランダムで 1 つ表示される。 例えば、=randbetween(1, 9) と入力すると、1 以上 9 以下の数字がランダムで表示される。これを横向きに連続するセルへ <table border="1" data-bbox="448 1088 1177 1137"> <tr> <td>=randbetween(1, 9)</td> <td>+</td> <td>=randbetween(1, 9)</td> <td>=</td> </tr> </table> と入力すると、1+1, 1+2, 1+3, …, 9+7, 9+8, 9+9 までの 81 通りの足し算から 1 つが表示されるようになる。また、F9（ファンクションキー）を 1 回押すと、新たにランダムの式が表示される仕組みになっている。	=randbetween(1, 9)	+	=randbetween(1, 9)	=
=randbetween(1, 9)	+	=randbetween(1, 9)	=		
工夫点など	この式を縦列に並べることで、足し算の練習問題が作成できる。 また、+を-に変えると、引き算の問題にもできる。その際は、引く数に表示される数字を、引かれる数より小さくする。 (例) <table border="1" data-bbox="549 1473 1219 1523"> <tr> <td>=randbetween(5, 9)</td> <td>-</td> <td>=randbetween(1, 5)</td> <td>=</td> </tr> </table> 5 以上 9 以下の数から 1 以上 5 以下の数を引く式になる。	=randbetween(5, 9)	-	=randbetween(1, 5)	=
=randbetween(5, 9)	-	=randbetween(1, 5)	=		
使用方法	授業開始時、簡単に着手できるプリントとして渡す。始めのハードルを低く設定することで、その後の授業への動機付けとする。 くり返し数字を変えて使用できるため、学習の定着を図ったりやる気の向上へとつなげたりする。				